



農業信用保証

2016

佐賀県農業信用基金協会

ごあいさつ

当協会の業務運営につきましては、平素より格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、この冊子は、当協会の経営計画から、財務状況、保証業務の内容等をできるだけ分かりやすくご理解いただけるようまとめました。

また、日頃より当協会をご利用いただいております会員をはじめ、ご支援をいただいております関係機関などたくさんの皆様方にこの冊子を通して、当協会のことを知っていただき、尚一層のご理解を賜りたいと存じます。

今年度の県内の農業は、べと病による玉葱の不作や子牛の頭数減少による素牛価格の高止まりなど厳しい状況にあります。

これからの農業改革は、当協会の運営にも影響を与えることと思われませんが、役職員一丸となって農業者等の公的な信用補完機関として機能するよう健全な運営に努めてまいります。

佐賀県農業信用基金協会

会長理事 中野吉實

Contents

- 01 佐賀県農業信用基金協会の概要
- 02 佐賀県農業信用基金協会の理念
- 03 事業の概要
- 04 債務保証のしくみ
- 07 中期経営計画及び平成28年度事業計画
- 09 平成27年度事業概況
- 13 機構組織・事務所所在地

佐賀県農業信用基金協会の概要

プロフィール

(平成28年3月31日現在)

設立認可日	昭和37年2月27日
根拠法	農業信用保証保険法
基金	4,907百万円
	内訳
	出資金 3,673百万円
	繰入金 1,140百万円
	交付金 94百万円
保証債務残高	件数 20,225件
	金額 122,622百万円
役員数	理事 12名 (うち非常勤11名)
	監事 3名 (非常勤)
	職員 16名 (うち嘱託2名)

沿革

昭和36年11月10日	農業信用基金協会法(現:農業信用保証保険法)公布施行
昭和37年2月27日	佐賀県農業信用基金協会 設立認可
昭和37年3月1日	佐賀県農業信用基金協会 設立登記
昭和37年3月1日	佐賀市赤松町35番地に事務所を置き、業務開始
昭和45年6月15日	佐賀市神野町(現:栄町2-1)県農協会館2階へ事務所移転
平成10年3月16日	県農協会館2階から6階へ事務所移転し、現在に至る

協会マークの説明

- C, Credit (信用)
- G, Guarantee (保証)
- A, Agriculture (農業)
- F, Fund (基金)
- A, Association (協会)



農業信用基金協会のマークは、信用、保証、農業、基金、協会の英単語の頭文字を図案化したもので、全国統一のものであります。

佐賀県農業信用基金協会の理念

農業信用基金協会は、農業者等の方々が融資機関から農業資金や生活資金の貸付を受ける際に公的な債務保証機関として保証人となり、農業金融の円滑化を図ることを目的として農業信用保証保険法に基づき設立された法人です。

基本理念

当協会は昭和37年3月設立以来、債務保証を通じて農業者等がその経営を近代化するために必要な資金その他農業者等が必要とする資金の融通を円滑にし、農業の生産性の向上を図り、農業経営の改善並びに地域経済の発展に資することを基本理念としております。

基本姿勢

- ・迅速かつ的確な審査を行い適正な債務保証を提供すること
- ・多様化する農業者等のニーズに的確に応えられること
- ・農業者等のパートナーとして信頼される協会であること
- ・保証基盤を強化し経営の安定を図り、農業並びに地域社会の発展に寄与すること

行動指針

- ・親切で丁寧な対応を行い、適正な保証の推進に努めます。
- ・コンプライアンスを遵守し、責任をもって行動します。
- ・役職員は自己啓発に努め、資質の向上を目指します。
- ・多様なニーズに応えるため、創意工夫に努めます。
- ・関係機関との連携を図り、農業者等の利便性の向上に努めます。

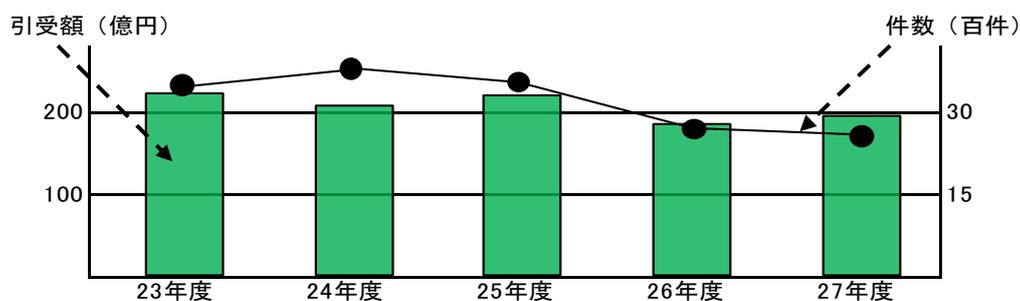


事業の概要（平成23年～27年度）

1. 債務保証引受額

（単位：千円）

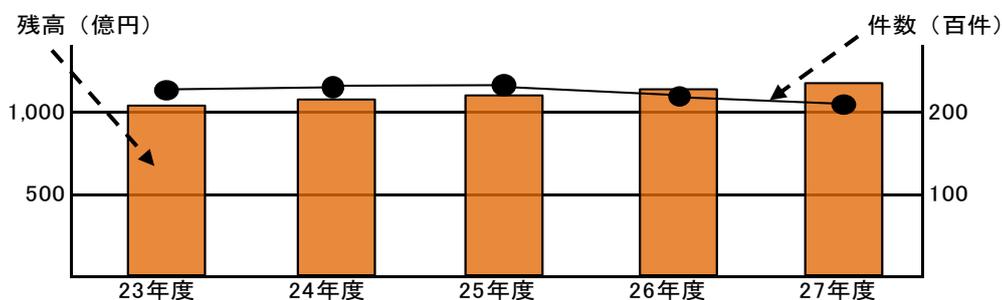
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
件数	3,403	3,631	3,479	2,854	2,771
金額	22,060,575	21,146,800	22,187,922	19,051,384	19,980,740



2. 債務保証残高

（単位：千円）

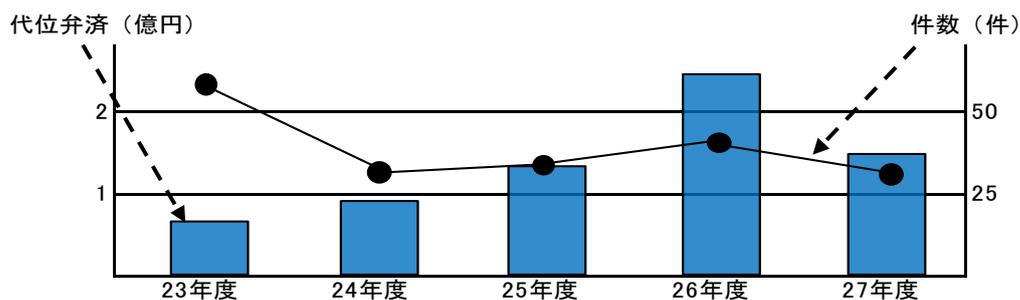
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
件数	22,382	22,277	22,002	21,122	20,225
金額	110,285,673	114,472,252	119,332,969	120,682,887	122,622,263



3. 代位弁済

（単位：千円）

年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
件数	58	29	32	43	30
金額	64,997	90,077	135,102	242,199	148,543

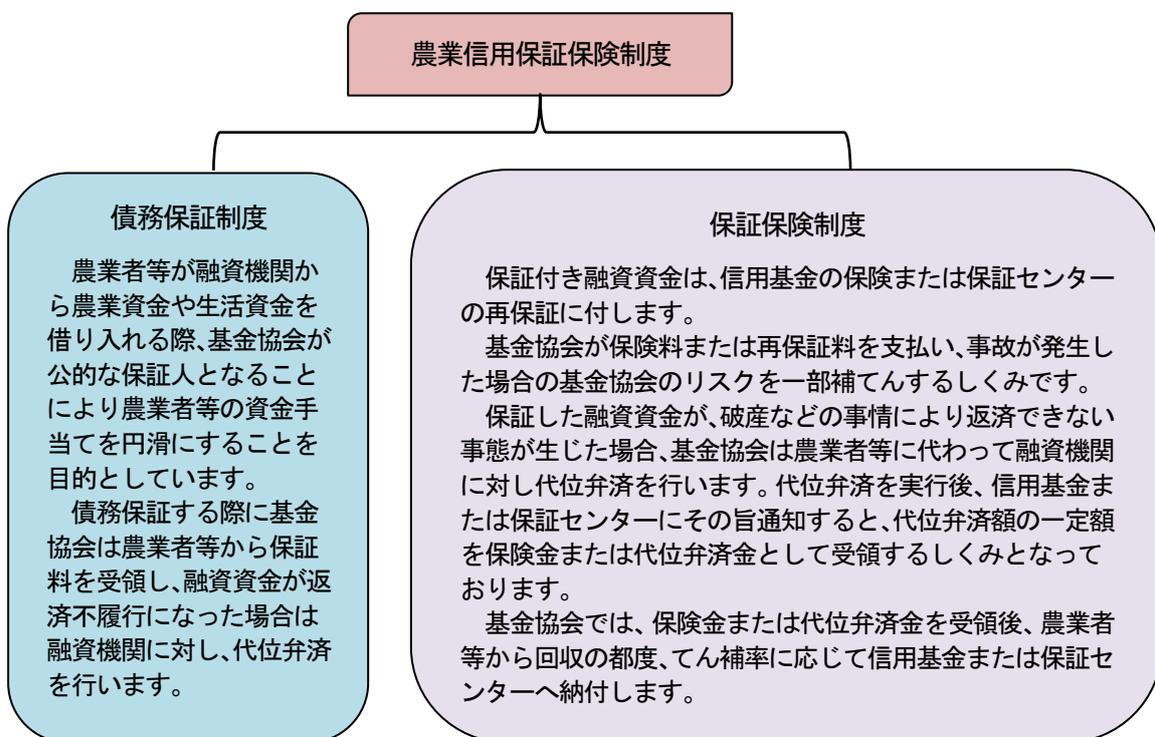


債務保証のしくみ

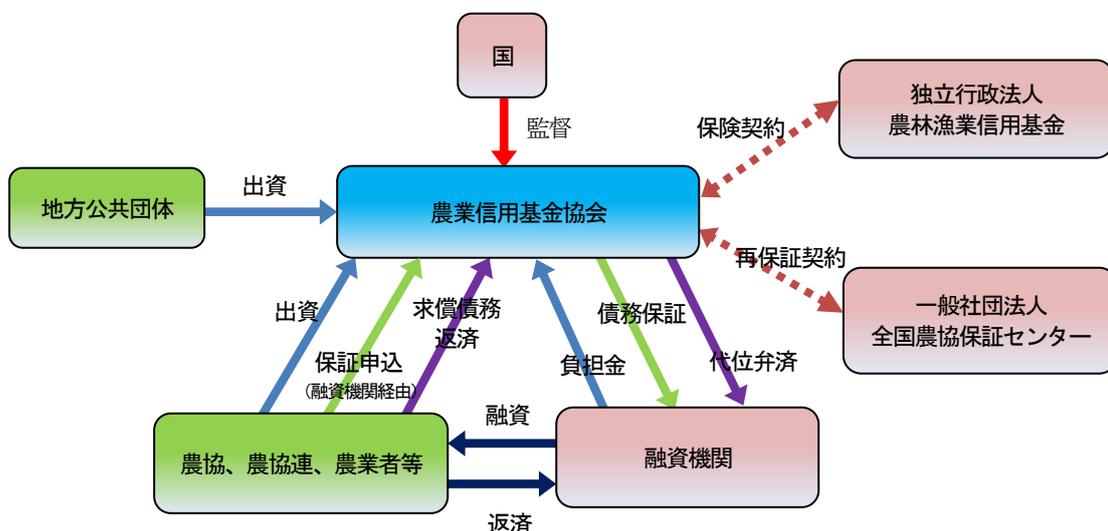
◆ 農業信用保証保険制度のしくみ

農業信用保証保険制度とは、農業者等、融資機関、農業信用基金協会（以下「基金協会」という。）の3者からなる「債務保証制度」と、基金協会が独立行政法人農林漁業信用基金（以下「信用基金」という。）並びに一般社団法人全国農協保証センター（以下「保証センター」という。）に対して保険または再保証を行う「保証保険制度」の総称です。

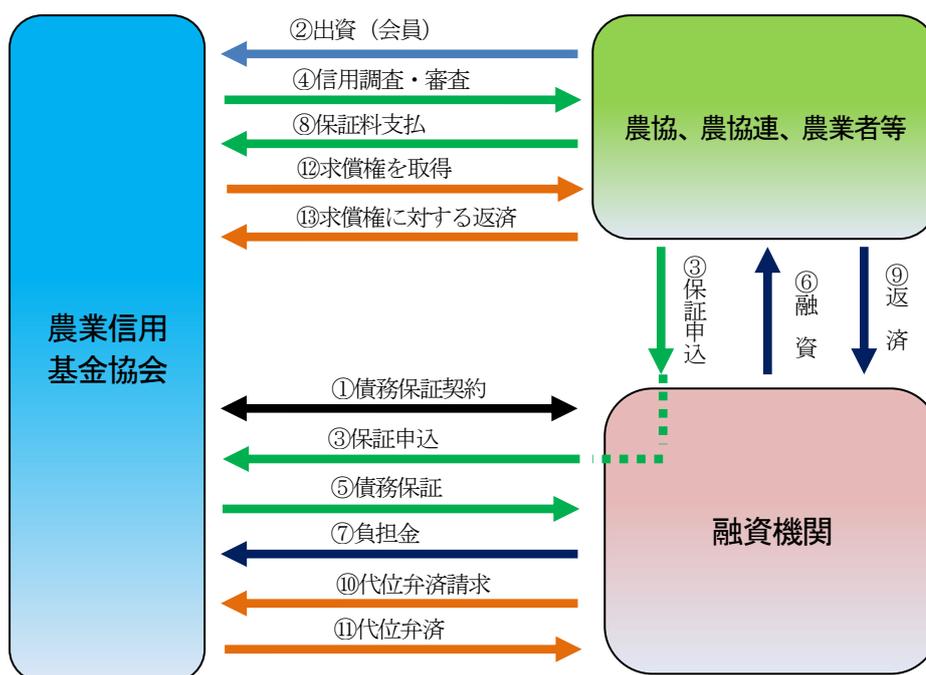
基金協会は、会員（地方公共団体、農協、農協連、農業者等）からの出資金や融資機関等からの負担金（交付金）を受けることにより、信用保証業務に伴うリスクに対する資金的な裏付けを行い、信用保証制度により代位弁済に伴う負担が軽減されます。このように保証保険機能の充実により、基金協会は農業金融を更に円滑にすることができるようになります。



◆ 農業信用保証保険制度の概略図



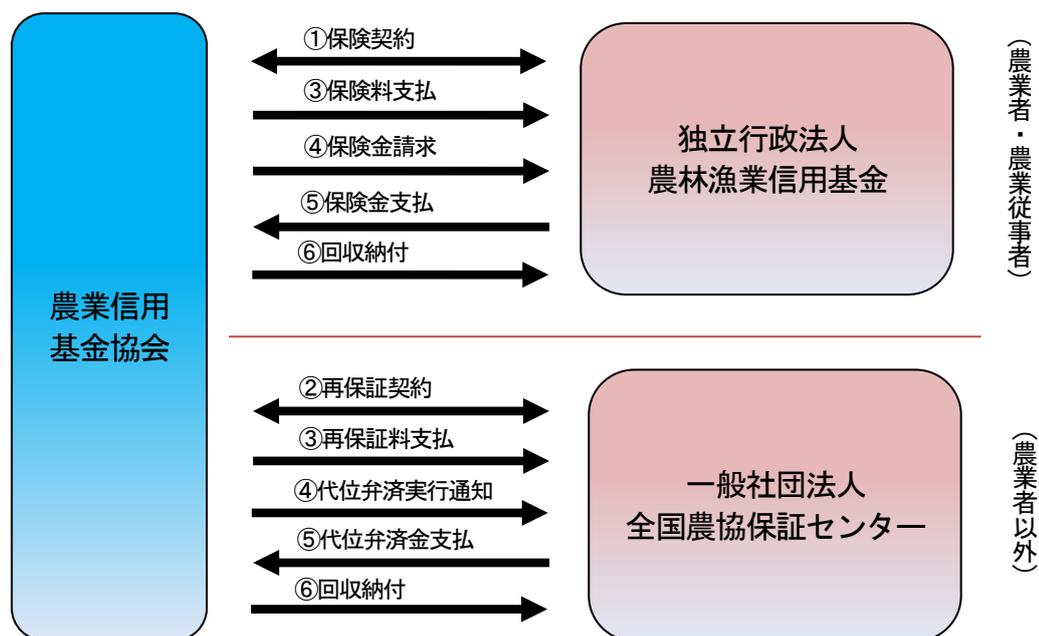
◆ 債務保証制度のしくみ



債務保証制度の当事者は、基本的には農業者等（会員）、融資機関、農業信用基金協会（以下「基金協会」という。）の三者です。

- ① 融資機関と基金協会との間で基本的な契約である債務保証契約を締結します。
- ② 会員を保証の対象者としていますので、基金協会へ出資をして会員になっていただきます。
* 基金協会の会員である農協の組合員の方は、基金協会への出資は不要です。
- ③ 農業者等は、融資の申込みをされた融資機関を通じて保証申込みをします。
- ④ 基金協会は、申込みのあった農業者等の信用調査を含めた保証審査を行います。
- ⑤ 基金協会は、債務保証を適当と認めたときは融資機関に対し債務保証書を発行します。
- ⑥ 融資機関は、債務保証書に基づいて農業者等へ融資を行います。
- ⑦ 融資機関は、基金協会に保証に対する負担金を支払います
* また、代位弁済した場合も負担金を支払います。
- ⑧ 農業者等は、基金協会に保証料を支払います。
- ⑨ 農業者等は、融資の条件に従って融資機関に返済を行います。
- ⑩ 融資機関は、農業者等が何らかの理由により、借入金の全部又は一部の返済ができなくなったときは、基金協会へ代位弁済の請求を行います。
- ⑪ 基金協会は、この請求に基づいて農業者等に代わって借入金の残額を融資機関に代位弁済します。
- ⑫ 基金協会は、代位弁済により農業者に対して求償権を取得します。
- ⑬ 農業者等は、基金協会の求償権に対して返済を行います。

◆ 保証保険制度のしくみ



保証保険制度の当事者は、独立行政法人農林漁業信用基金（以下「信用基金」という。）及び一般社団法人全国農協保証センター（以下「保証センター」という。）と農業信用基金協会（以下「基金協会」という。）です。

- ①信用基金は、毎年、基金協会と年間の保険引受額について保険契約を締結し、この契約に基づき基金協会の農業者の方に対する債務保証について保険を引受けます。
- ②保証センターは、基金協会と再保証契約を締結し、この契約に基づき農業者以外の方に対する農業協同組合の融資について基金協会の債務保証と合わせて再保証を行います。
- ③基金協会は、信用基金に保険料を、保証センターに再保証料を支払います。
- ④基金協会が融資機関に代位弁済をした時は、保険に付している場合は信用基金に保険金の請求を行います。また、再保証している場合は保証センターに代位弁済の実行通知を行います。
- ⑤信用基金は、代位弁済した元金と利息等の70%を保険金として基金協会に支払います。また、保証センターは、代位弁済した元金と利息の50%を再保証に係る代位弁済金として基金協会に支払います。
- ⑥基金協会は、代位弁済した農業者等からの回収金から信用基金又は保証センターへ保険金等の受領割合に応じて納付します。

中期経営計画及び平成28年度事業計画

◆ 第四次中期経営計画（平成27年度～平成29年度）

国は「農林水産業・地域の活力創造プラン」に基づき農林水産業を成長産業化して、農業・農村の所得倍増を目指すとともに、美しく伝統ある農山漁村の承継と食糧自給率・自給力の維持向上に向けた施策を展開していますが、担い手農家の育成・確保及び食の安全・消費者の信頼確保、農業の競争力強化など、課題は山積しています。

当協会は、このような情勢の中で公的な債務保証機関として役割を果たすため、経営の健全性の確保と利便性の向上が重要であることを念頭において第四次中期計画を策定しました。主な取り組みは、以下のとおりです。

1 債務保証の促進と利便性の向上

- ・融資機関や関係指導機関との連携を密に行い、農業者の資金ニーズを把握し農業資金の保証拡大に取り組み、農業者等が必要とする資金の債務保証を積極的に行います。
- ・保証引受け事務の簡素化と農業資金の段階別保証料率の推進に取り組みます。

2 保証審査の迅速化と適正化

- ・保証審査の迅速化と適正化に取組み利用者のニーズに応えます。

3 保証審査の厳格化と期中管理

- ・厳格な保証引受けの審査により、事故率の発生を低下させ経営の安定化を図ります。
- ・融資機関及びJAバンク佐賀ローンセンター等と連携した期中管理を徹底して事故の未然防止に努めます。

4 代位弁済の適切な対応

- ・販売価格の低迷、生産資材の高止まりなど、農業経営が悪化して恒常的に償還が遅延しているものについては、一括代位弁済を含めた計画的な代位弁済を行います。
- ・自己破産、個人再生など負債過多を原因としたものについては適切な代位弁済に努めます。

5 求償権の円滑な管理・回収・償却

- ・債務者等との面談等により状況を把握し、その実態に即した的確な管理・回収に努めます。
- ・財務の改善・健全化を図るため、自己破産、行方不明などにより回収不能な求償権については、償却基準に基づき適正な償却に努めます。

6 コンプライアンス態勢の整備と強化

- ・公的な債務保証機関として、会員及び農業者等の負託に応えるため、コンプライアンス態勢を整備するとともにコンプライアンスの強化を図ります。

7 経営の健全性の確保

- ・自主基準で定める「弁済能力比率概ね800%を下回らないこと」の維持に努め、経営の安定と健全性の確保に努めます。

◆ 平成28年度事業計画

1. 事業方針

当協会は、第四次中期経営計画の2年目にあたり、融資機関と農業者等から信頼される経営の健全性を目指して、融資機関及び関係機関と緊密な連携を取りながら農業者等の多様な融資・保証需要に迅速かつ的確に対応できるよう次に掲げる事項を重点的に取り組むこととしました。

【債務保証の推進と融資・保証需要への的確な対応】

- ア 融資・渉外担当を対象とした各種研修会及び会議を開催
- イ 融資機関及び関係機関等との緊密な連携
- ウ 農業者等の資金ニーズの把握
- エ 適正かつ的確な保証引受け

【財務基盤の強化・充実】

- ア 償却求償権に対する増資
- イ 保証需要に見合った増資
- エ 県からの制度資金に対する特別準備金

【保証債務のリスク分散】

- ア 信用基金の保険
- イ 保証センターの再保証

【代位弁済の抑制と求償権の管理・回収】

- ア 融資機関における初期督促
- イ 債務者等との面談・督促による的確な状況把握
- ウ 返済意欲が欠如している債務者に対する法的手続き
- エ 適正な償却

2. 保証引受け等の計画

平成28年度の保証引受け等の計画は下表のとおりです。

項 目	金 額
新規保証引受	200億円
債務保証実残高	1,248億円
代 位 弁 済	2億36百万円
回 収 ・ 償 却	2億15百万円
求 償 権 残 高	8億26百万円

平成27年度事業概況

貸借対照表

(平成28年3月31日現在 単位:円)

資 産		負 債・資 本	
科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
I 流動資産	7,334,452,808	I 流動負債	2,127,428,804
現 金	0	短期借入金	0
預 金	7,278,189,726	1年以内返済予定 長期借入金	711,600,000
普通預金	29,063,897	前受収益	1,352,392,685
定期預金	7,249,055,829	未払費用	55,070,220
郵便貯金	70,000	賞与引当金	3,659,500
有価証券	0	その他流動負債	4,706,399
前払費用	637,287		
未収収益	43,820,412	II 固定負債	1,489,383,628
短期貸付金	0	長期借入金	129,770,000
その他流動資産	11,805,383	支払準備金	538,918,582
		保険金	423,857,432
II 固定資産	2,006,328,545	交付金	115,061,150
有形固定資産	631,294	保証責任準備金	524,529,198
建物及び構築物	282,394	債務保証損失引当金	73,746,340
工具器具備品	348,900	退職給付引当金	74,398,487
無形固定資産	464,468	特別準備金及び 特別支援金	54,692,280
投資有価証券	1,197,523,686	求償債務	91,614,805
国債	903,945,426	その他固定負債	1,713,936
地方債	293,578,260		
外部出資金	82,180,000	III 保証債務	122,622,263,307
特別外部出資	24,960,000	負債合計	126,239,075,739
敷金・保証金	35,920,000		
求償権	804,759,590	(資本の部)	
求償権償却引当金	△140,110,493	出資金	3,678,510,000
		繰入金	1,140,340,000
III保証債務見返	122,622,263,307	準備金	802,847,656
		当期利益金	102,271,265
		資本合計	5,723,968,921
資産合計	131,963,044,660	負債・資本合計	131,963,044,660

貸借対照表の用語解説

資 産	
預 金	県信連・農協へ預け入れをしています。
有価証券及び 投資有価証券	代位弁済の支払い準備資産として国債・地方債を保有しています。
外部出資金	信用基金、保証センター、県信連に出資しています。
特別外部出資金	畜産特別資金融通円滑化特別事業に伴い信用基金に出資しています。
求償権	代位弁済した金額から回収額及び償却額を控除した額です。
求償権償却引当金	求償権の取立不能見込み額に対して引当てをしています。
債務保証見返	貸付実行された元本に対する保証債務の額に係る見返勘定です。

負 債 ・ 資 本	
1年以内返済予定 長期借入金	代位弁済金の支払いを円滑にするための原資として、信用基金から借り入れた借入金で、当該事業年度に返済期日が到来するものです。
前受収益	受入れた保証料のうち、翌事業年度以降に係る保証料を計上していません。
長期借入金	代位弁済金の支払いを円滑にするための原資として、信用基金から借り入れた借入金で、翌事業年度以降に返済期日が到来するものです。
保険金	代位弁済に伴い信用基金から受領した保険金の額から、回収納付額と償却に充てた額を控除しています。
交付金	債務保証の弁済に充てることを条件に国又は県その他の団体から交付された額から、補助事業の終了等に伴って返還した額及び求償権の償却に充てた額を控除しています。
保証責任準備金	通常の予測を超えて発生する保証事故に備え準備金として積み立てています。
債務保証損失引当金	事業年度終了時の保証残高を被保証者の財務状況及び返済能力に応じて被保証者ごとに区分し、当該区分ごとに事故率及び回収不能率を用いて算出した損失見込み額に備えるための引当金です。
特別準備金及び 特別支援金	制度資金に対する県その他の団体から特別準備金及び特別支援金として補助又は出えんを受けた額及び当協会が負担した額から、経費相当額等の戻入額を相殺した額です。
求償債務	保証センターが負担した再保証債務に係る融資機関への代位弁済金から、求償権の回収及び償却相当額を控除した額です。
保証債務	貸付実行された元本に対する保証債務の額です。
出資金	保証をするための基金として会員から払い込まれた出資金です。
繰入金	保証をするための基金として準備金から繰り入れたものです。
準備金	毎事業年度の剰余金の全部を積み立てています。欠損のてん補に充てるか繰入金に繰り入れる場合に取り崩します。

財産目録

(単位：円)

摘 要	金 額
資産の部	
流動資産	7,334,452,808
固定資産	2,006,328,545
資産合計	9,340,781,353
負債の部	
流動負債	2,127,428,804
固定負債	1,489,383,628
負債合計	3,616,812,432
差引純財産	5,723,968,921

損益計算書

(平成27年4月1日から平成28年3月31日まで 単位：円)

費 用		収 益	
科 目	金 額	科 目	金 額
事業直接費	7,024,116	保証料	314,805,697
事業管理費	123,836,815	求償権利息	7,680,907
保険料	58,006,774	保険金	34,564,756
再保証料	84,744,545	交付金	435,000
保険納付金	58,001,744	受取助成金	7,128,747
保険金等返還金	67,999,548	雑収益	140,856
再保証納付金	942,354	受取利息	31,128,085
支払準備金繰入・戻入(△)	△166,539,960	有価証券利息	22,849,320
保証責任準備金繰入・戻入(△)	28,291,275	その他財務収益	4,120,743
求償権償却引当金繰入・戻入(△)	△36,939,932	経常収益計	422,854,111
債務保証損失引当金繰入・戻入(△)	△24,818,486	償却債権取立益	3,676,281
特別準備金及び特別支援金繰入・戻入(△)	△1,022,995	特別利益計	3,676,281
求償権償却費	124,566,841		
支払利息	161,884		
経常費用計	324,254,523		
固定資産除却損	4,604		
特別損失計	4,604		
費用合計	324,259,127	収益合計	426,530,392
当期利益	102,271,265		

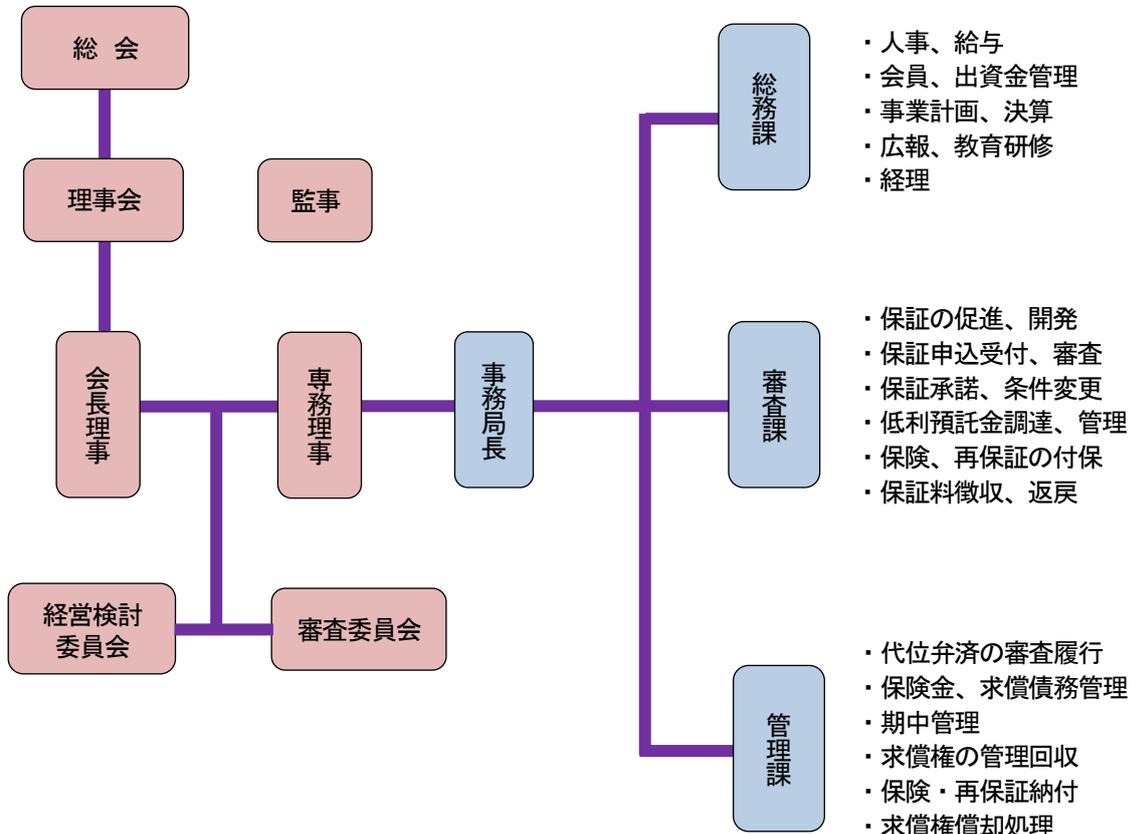
損益計算書の用語解説

収 益	
保証料	受入保証料のうち当該決算期間に対応する額（前期末未経過保証料＋当期受入保証料－当期末未経過保証料）を計上しています。
保険金	当期の代位弁済に係る信用基金からの保険金
交付金	債務保証の弁済に充てることを条件に当期中に交付された額
受取利息	金融機関に預け入れた預金の受入利息
有価証券利息	保有している有価証券の受入利息

費 用	
事業直接費	信用調査費、事業推進費、業務委託費、債権管理費
事業管理費	役員報酬、給与手当、法定福利費、厚生費、賞与引当金及び退職給付引当金繰入の人件費 旅費交通費、事務費、会議費、施設費、減価償却費等の事務管理費
保険料	信用基金に支払った保険料
再保証料	保証センターに支払った再保証料
保険納付金	保険に付した求償権の元金、利息等の回収金に係る信用基金に納付した額
保険金等返還金	巻戻しに係る保険金の返還額及び補助事業の終了等に伴う交付金の返還額
再保証納付金	保証センターに支払う求償債務の利息・遅延損害金及び償却求償権取立益のうち求償権回収相当額
支払準備金繰入 ・戻入（△）	信用基金からの受領保険金の繰入額、信用基金への返還保険金及び求償権（保険金相当額）の償却に充てるための戻入額を整理 受入交付金の繰入額、補助事業の終了等に伴う交付金の返還及び求償権（当協会の負担分）の償却に充てるための戻入額を整理
保証責任準備金 繰入・戻入（△）	通常の前測を超えて発生する保証事故に備えるための保証責任準備金の繰入額又は戻入額を差額補充法により整理
求償権償却引当金 繰入・戻入（△）	求償権償却引当金の繰入額又は戻入額を差額補充法により整理
債務保証損失引当金 繰入・戻入（△）	代位弁済に備えるための債務保証損失引当金の繰入額又は戻入額を差額補充法により整理
特別準備金及び特別 支援金繰入・戻入（△）	特別準備金及び特別支援金の繰入額又は戻入額を差額補充法により整理
求償権償却費	償却基準に基づく回収不能な求償権の直接償却費を整理

機構組織

佐賀県農業信用基金協会機構図



事務所所在地

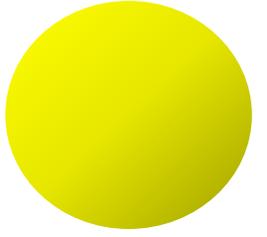
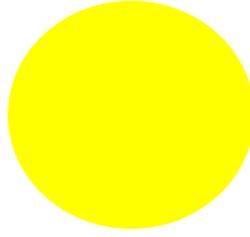
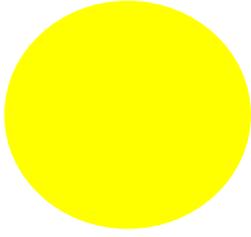
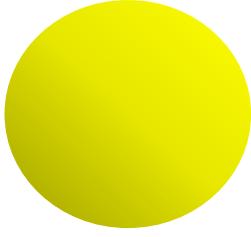
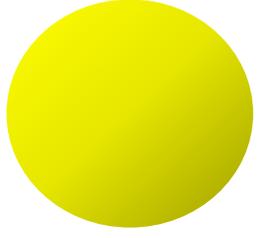
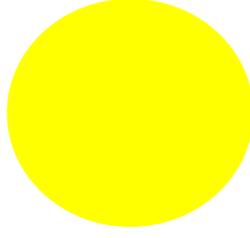
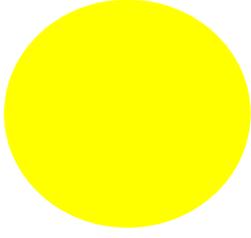
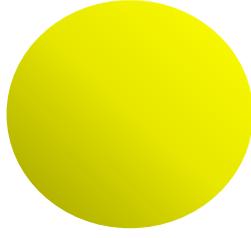
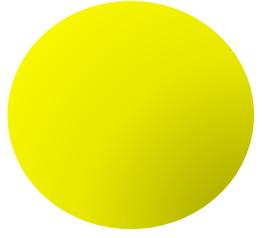
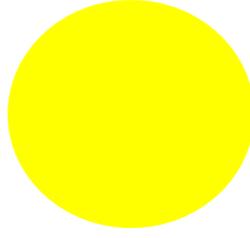
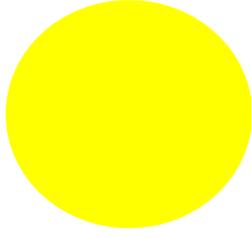
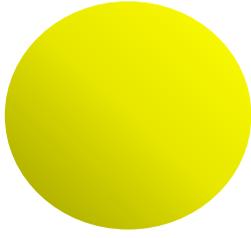
〒840-0803 佐賀市栄町2番1号 佐賀県JA会館本館6階
 (平成29年3月移転予定、佐賀県JA会館別館7階)

電話番号 代表 0952-25-5301

FAX番号 0952-29-5708

ホームページ <http://saganousinki.saga-ja.jp>

E-mail saga.afa@seagreen.ocn.ne.jp



佐賀県農業信用基金協会

